

第14回
実短歌おぎやま子

応募期間
令和8年7月17日(金)～令和8年9月3日(木)まで

三十一番で
威じたまへ



主 催 さいたま市教育委員会 芸術文化祭実行委員会
協 賛 埼玉県教育委員会 埼玉県新聞社
後 援

インターネットからも応募できます▶



第14回さいたま子ども短歌賞 応募要項

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ

伝統的な言語文化の継承を図るために

さいたま子ども短歌賞を実施し作品を募集します
短歌作品を応募票に記入してお送りください

★対象

全国の小・中学生

★応募期間

令和8年7月17日(金)から
令和8年9月3日(木)まで

★応募のきまり

・所定の応募票を使用してください。

※応募票のコピーや、市ホームページからダウンロードしたものの使用は可とします。
ただし、用紙サイズはA4とし、縮尺は変更しないでください。

・1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。

・応募作品は未発表の自作短歌に限ります。
ただし、学校の授業で創作した作品は可とします。

・他の短歌コンクールとの二重投稿や、既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。

・応募のきまりに反する場合は、入賞を取り消すことがあります。

★選考委員

沖・ ななち (歌人)
佐伯 裕子 (歌人)
外塚 喬 (歌人)

★賞

優秀賞 20 首

賞状、図書カード (3,000 円分)、
作品集を贈呈します。

入 選 80 首

賞状、作品集を贈呈します。

☀️応募先・お問合せ先

さいたま市教育委員会事務局生涯学習振興課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4

電話 048-829-1705 FAX 048-829-1989
E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会事務局「自分発見!」チャレンジupさいたま」スタンプ事業です。

★発表

入賞者は、委員による選考後 11 月下旬頃に決定します。

入賞者本人へ学校を通じてお知らせするとともに、在籍校の学校長宛てに通知することで発表とします。

★表彰式

表彰式を次のとおり開催します。

期 日 令和9年1月17日(日)

会 場 さいたま市青少年宇宙科学館
青少年ホール

★作品集

入賞作品 100 首を掲載した作品集を作成します。

作品集には、作品とともに作者名、学校名、学年を掲載します。

★作品の取扱い

・応募作品の著作権は、さいたま市に帰属します。

・応募作品の原稿(応募票)は返却しません。

・入賞作品は、さいたま市ホームページ、本市刊行物等で作者名、学校名、学年と併せて掲載します。

・応募に際して取得した個人情報、さいたま市教育委員会が実施する短歌に係る3つの事業以外の目的では利用しません。

*「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業 ~Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)~」
さいたま子ども短歌賞、さいたま短歌フオーラム、現代短歌新人賞(詳細は市ホームページをご覧ください。)

第14回さいたま子ども短歌賞応募票

※三首まで応募できますが、入賞は一人一首です。

短歌の基本は「五七五七七」だけで、
「字あまり」「字だらけ」でも大丈夫。大きな字ではっきり書いてね!!

③

②

①

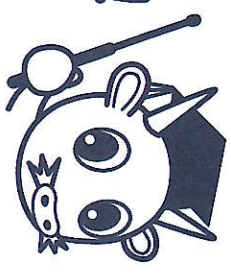
■ 学校名、学年、組

学校名	市立	学校	学年	組
-----	----	----	----	---

■ 氏名(ふりがな)

(ふりがな)	氏名
--------	----

※この応募票はA4サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。



3つのステップで短歌を詠んでみよう！

?短歌ってどんなもの？

心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。

【例：声に出して読んでみよう】

「寒いね」と 話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたたかさ (篠 万智『サラダ記念日』より)

STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- ・学校でのできごと
- ・家族、友達
- ・好きなスポーツ
- ・動物、植物
- ・行ってみた場所
- ・夏休みの思い出
- ・将来の夢
- ・景色、風景

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。
このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉をたくさん書こう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせ、
「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。
でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り（文字数が多いこと）・字足らず（文字数が少ないこと）でも大丈夫！
伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩（たとえる）
【例】：「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め（最後が名詞で終わる）
【例】：「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句（同じ構成の語を並べる）
【例】：おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語（音や様子を表す）
【例】：わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け（あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ）